

## B 舌色（ぜつしょく）

病態をあらわす舌色は、淡白・紅・絳・紫・青の5種に区別されている。

### 1. 淡白舌（たんぱくぜつ）

主病：営血不足

舌色が正常の淡紅より淡いもので、やや淡い程度の浅淡・偏淡から血色がまったくない淡白までを含めている。

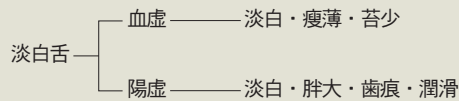
営血が不足して舌体を充養できないために淡白を呈する。ただし一般には、陽気が不足して、陰血を生化する能力が低下したり血液を推動する力が減弱した結果として、営血の不足が生じるので、気血両虚を示すこともある。陽虚のために陰血が産生されない場合は、とくに淡白色となる。

なお、陽気の不足にともなって陰津の生化が不足して気虚もともなうと、舌面に裂紋が生じることが多い。

偏淡・偏胖で湿潤しているのは、陽虚が主体である。写真③

嫩・淡白で舌体が痩せていたり舌苔が少ないのは、血虚である。写真④

淡白かつ胖大で齒痕があり、舌面が潤滑なもの、陽虚の虚寒である。写真⑤



③ 偏淡・胖・齒痕  
陽虚



④ 淡・嫩・裂紋・苔少  
気血両虚（陰津生化不足による裂紋がみられる）



⑤ 淡白舌・齒痕・瘀点・潤滑  
陽虚（血虚も明らかで、血瘀をともなう）